

公共交通体系を考える

公共交通機関に関するアンケート調査結果報告

アンケート調査結果報告

本年6月に実施しました「公共交通機関に関するアンケート調査」の集計が終わりました。回答について分析した結果をご報告します。

回答率は58.1%

回答件数は

2,935世帯

回答者のうちわけ



千歳・かずき・敬仁会・やすらぎの里などの老人保健施設などを除いた全5,616世帯18,022人（6月1日現在）に対してアンケート調査を行いました。

大山町の交通弱者の状況

交通弱者とは、自動車などの運転免許を取得していない方や運転免許を取得されていても自動車などを所有されておらず、専ら外出には公共交通機関に頼らざるを得ない方を言います。大山町では運転免許を取得されていない方が全体の約30%の方、自動車などを所有されていない方が約10%ありました。

車を所有する世帯は約90%

車などのない世帯は約10%

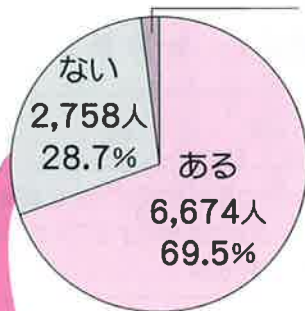
5.7% 7.7% 88.8%



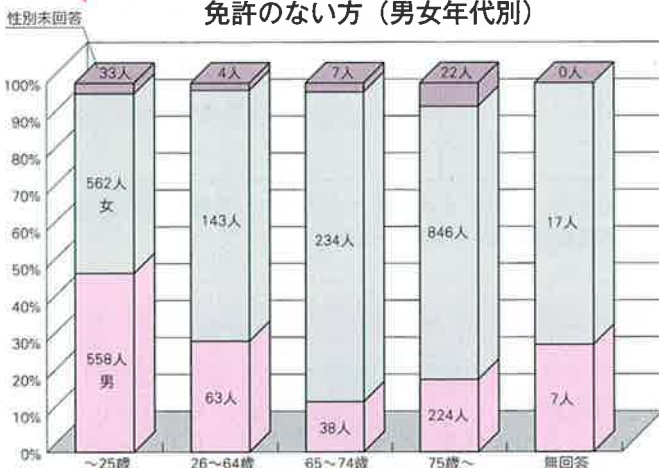
自動車を所有する世帯は、全世帯の88.8%にのぼり、平均2台以上を所有されていた。改めて自動車の普及ぶりが明らかになった。

無回答
165人
1.7%

免許のない方が約30%



免許のない方（男女年代別）



免許を取得していない方は65歳以上の高齢者と25歳以下の学生層に多く、また男性より女性が取得していない割合が高かった。一般的に言われている「交通弱者は高齢者と学生、男性よりは女性の問題」ということが、大山町においても当てはまることが確認された。



自動車などを1台も所有していない世帯が全体の10.7%に当たる313世帯あった。